

答辞



「絆 友情 つなぎあって 今 僕らはひとつ」

灯明寺中学校で大切に歌い継がれている「絆」の歌詞です。この曲のタイトルでもある絆の大切さをこれほど強く実感した年はなかったように思います。

様々な制限が続く中で、仲間と共に切磋琢磨し合った日々。振り返ると長かったようで短かった三年間。この仲間と共に過ごす日も今日で終わりを迎えようとしています。

三年前の春、新しい制服に身を包み、大きな期待と不安を胸に抱いて、私たちは灯明寺中学校生となりました。新たな環境の中で始まった、先生方、友達との学校生活。それはいつしか私たちの日常となっていました。最も印象深い思い出の一つが部活動です。先輩達に対する憧れから入った部活動でしたが、実際は思っていたよりも大変な練習が待っており、何度もくじけそうになりました。しかし、一緒に頑張りたいと思える仲間がそばにいてくれたからこそ、目の前のことから逃げずに向き合うことができました。後輩が入ってきてからは、先輩に甘えてばかりではいけないと自主的に行動す

ることも増え、技術はどんどん向上していきました。

部活動では一年生のお手本となっていた私たちでしたが、その他の面では先輩としての自覚が十分とは言えませんでした。そこで、二年生の終わりには、最高学年としての自覚をもつために、立志式に向けて学年五訓を決め、準備を進めてきました。

しかし、二月末。新型コロナウイルス感染症対策のために休校が決まり、授業はもちろん、立志式や部活動の大会も行うことができなくなりました。当たり前が当たり前ではなくなって初めて、日常が持つありがたみに気づかされました、また、今という時間の大切さも感じられるようになりました。数々の行事が中止・縮小となり、残念な思いもしましたが、この期間が私たちに大切なことを教えてくれたのだと思います。

休校が明けた6月・私たちは久々に顔を合わせました。「おはよう」と友達と笑い合えることがうれしいと感じたのは初めてでした。

私たちが最高学年としての意識を高め、クラス・学年での絆を深めることになったのが学校祭です。リーダーとして後輩たちの前に立ち、お手本となって行動することは誇らしくもあり、難しいことでもありました。しかし、この経験を通して新たな自分を見つけら

れたからこそ、今の私たちがあるのだと思います。

灯明寺中学校の伝統である灯中ソーランには、全クラスが全力で取り組みました。足が痛くなったり声がかれたりすることもありましたが、それ以上にクラスのみならず一つのことに全力を尽くせる喜びを感じました。「仲間と共に過ごせるこの時間を大切に」と、本番では全員が精一杯の演技を行うことができました。

行くことすら難しいのではないかと言われていた中、例年とは異なる形で実現できた修学旅行。クラスごとに県内各地を巡り、福井県のよさを知るとともに、中学校生活の思い出の一ページとして私たちの心に深く刻まれました。

その後、私たちは受験という戦いに挑んでいきました。「受験は団体戦」ということを心に留め、これまでに培った友との絆を信じ、誰一人置き去りにすることなく、未来に向かって前進していきました。人生の長い道のりの中の一つの山を越えられた今、皆さんに伝えたいことがあります。

一・二年生の皆さん、仲間との絆を大切にしてください。皆さんが辛い思いをしているときでも、仲間との絆があれば、乗り越えることができます。大切な仲間と灯明寺中学校の伝統を受け継ぎ、守っ

ていってください。応援しています。そして、これまでありがとうございました。

私たちを正しい道へと導いてくださった先生方。たくさん迷惑をかけたり、困らせたりしてしまったことがありました。そんな私たちを褒めてくださったこと、叱ってくださったこと、励ましてくださったこと、すべてに感謝しています。先生方のおかげで私たちは大きく成長することができました。先生方が私たちのことを思ってくださいていることはよく伝わってきて、そのたびに感謝の念を抱いていました。本当にありがとうございました。

家族の皆さん。いつも私たちに愛情を注いで接してくれてありがとうございます。家族への甘えから時には反抗的な態度を取ってしまうこともありましたが、本当はとても感謝しています。辛いときには親身になって私たちの話を聞いてくれること、いつも同じ笑顔を見せてくれることは私たちの大きな支えとなっています。今度は私たちが皆さんを支えられるように強くたくましく成長していきます。

そして、今までともに歩んできた三年生の皆さん。ここに来るまでたくさんのことがありましたね。目標を達成するために努力を積

み重ねてきた時間は決して無駄にはなりません。

「ここから始まる未来を信じ明日へ歩きだそう」

この「絆」の歌詞のように未来へ新たな一歩を踏み出していきましょう。 「絆 友情 きっと忘れない 今 僕らはひとつ」

最後に、多くの思い出を刻んだこの灯明寺中学校への感謝と、さらなる発展への願いを込めて答辞といたします。